キャラクター名	プレイヤー名
エリック・ベルト	

メインクラス	メイジ	**Lv.1:**		**レベル**	1
サポートクラス	セージ	**Lv.1:**	セージ	**性別**	男
称号クラス				**年齢**	14
種族	ヒューリン			**境遇**	天涯孤独
出自（効果）	涙珠の血族			**目標**	逃亡

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	10	9	9	9	9	9	6
ボーナス	3	3	3	3	3	3	2
クラス修正	0	0	0	2	2	1	1
他修正							
能力値	3	3	3	5	5	4	3

HP	29
MP	36
フェイト	5

	装備品	射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	スタッフ	至近	-1	2	0	1	0	0	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	クロスアーマー					3			
補助	マント					1			
装身具	知識の書								
能力値			3	0	3	0	4	8	8
スキル								3	
その他									
総計(右)			2	2	3	6	4	11	8m
総計(左)									
総計(両)									
ダイス数			2d	2d	2d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+2d
トラップ解除	3			3	+2d
危険感知	5			5	+2d
エネミー識別	5			5	+2d
アイテム鑑定	5			5	+2d
魔術判定	5			5	+2d
呪歌判定					+d
錬金術判定	3			3	+2d

所持品	
バックパック	
ベルトポーチ	
MPポーション*7	
冒険者セット	
仮面	
ポーションホルダー	
小道具入れ	
HPポーション*5	
毒消し	
野菜*5	
万能薬	

現在重量： 17			
最大重量： 17	所持金： 120	預金・借金：	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーフブラッド	★	-	ﾊﾟｯｼﾌﾞ	-	-	-		
効果：タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3								
マジシャンズマイト	1	-	ﾊﾟｯｼﾌﾞ	-	自身	-		
効果：魔法攻撃のダメージに+1dする。(反映済み)								
コンセントレイション	★	-	ﾊﾟｯｼﾌﾞ	-	自身	-		
効果：魔術判定に+1dする。								
ウォータースピア	★	6	ﾒｼﾞｬｰ	20m	単体	魔術		
効果：魔法攻撃を行う。ダメージは3d+5の水属性魔法ダメージとなる。この攻撃で1点でもHPダメージを与えた場合、追加で[放心]を与える。								
エンサイクロペディア	★	-	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	-	自身	自動		
効果：エネミー識別を行う。これにより、セットアッププロセスでエネミー識別を行える。								
ブラッドスペル	1	-	DR直前	-	自身	自動		
効果：魔法攻撃のDR直前に使用する。5点以下の任意の【HP】を消費し、消費した【HP】1点につき攻撃のダメージに+1する。								
ニンブル	★	-	ﾊﾟｯｼﾌﾞ	-	自身	-		
効果：【行動値】に+3する。								
モンスターロア	★	-	ﾊﾟｯｼﾌﾞ	-	自身	-		
効果：エネミー識別に+1dする。								
マイニング	★	-	効果参照	-	自身	自動	1/Sr	
効果：シーン終了時に使用する。ルビー,エメラルド,サファイア,トパーズのいずれかを1d個か、ダイヤモンドを1d÷2個取得する。GMが使用を却下した場合、使用回数には数えない。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

エリック・ベルト
ヒューリンとフィルボルのハーフの少年。
道化の面を着けた妙な格好をしているが、齢14にして博識洽聞。特に魔物に関する知識はそこらの大人よりも深く広く知り尽くしている天才児である。
その知力と血筋に恵まれた瞬発力を活かし、水の精霊の力を借りた精霊魔術での戦闘を得意とする。
性格は内向的で、あまり自分のことを多く語ろうとはしない。
その腕を買った冒険者達に付いていく事さえあれど、彼らともあまり深い関係を築くことはせずにその街を去る…ということが多い。

□□

本名、スリール・ラルム。
『涙が宝石に変わる』という特殊な能力を持つ血族、ラルム家の息子である。
フィルボルの母親がその血統であり、ヒューリンの父親はその家系に婿養子として加わった。
母親から溢れんばかりの愛情を、父親から零れんばかりの熱意を受けて育った彼は、笑顔を絶やさない明るい少年だった。

だが、得てして人の悪意というものは突然襲い来るものだ。
その能力を狙う悪辣な盗賊の手によって一族は襲撃を受け、涙を得るための拉致や拷問などの憂き目に遭った。
父親は襲撃によって殺害され、母親も盗賊達の手によってどこか遠い異国の地へと連れ去られてしまった。
『スリール、あなただけでも逃げなさい！』
…彼は断腸の思いで、いつかまた出会える日を信じて、泣き叫ぶ母親を背にその場から逃げ出したのだった。

かくして一族が離散し天涯孤独の身となったスリールは、母親の最後の言葉に従うべくして行動を起こした。
仮面を被り、偽名を名乗り。故郷から遠く離れたエリンディルの西方地域で、冒険者として逃亡生活を送ることを決意したのである。